

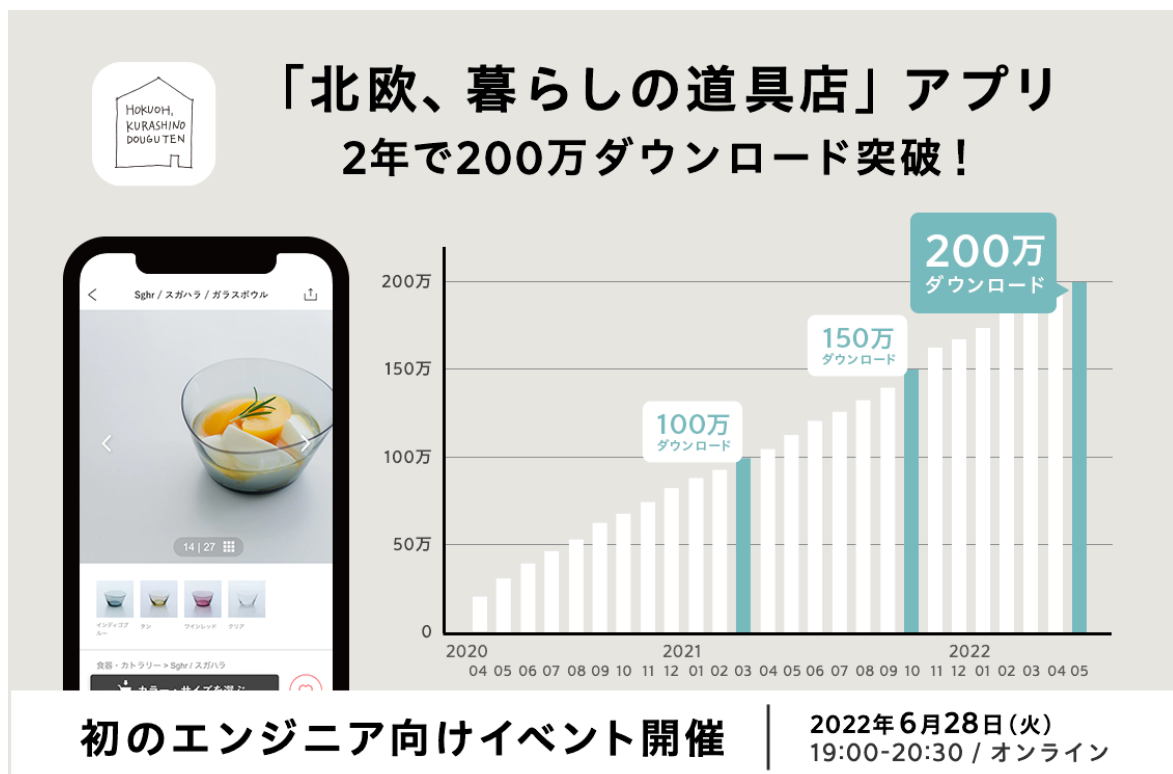
報道関係各位
プレスリリース

2022年6月7日
株式会社クラシコム

「北欧、暮らしの道具店」スマホアプリが2年で200万DL突破
2周年を記念して、初のエンジニアイベント「Kurashicom Tech Talk」を開催
～2年経った今だからこそわかる、開発課題の答え合わせ。開発担当のトークセッション～

イベント日時：2022年6月28日（火）19:00-20:30

[オンライン開催：https://note.com/kurashicom_tech/n/ncb5a054da1d6]



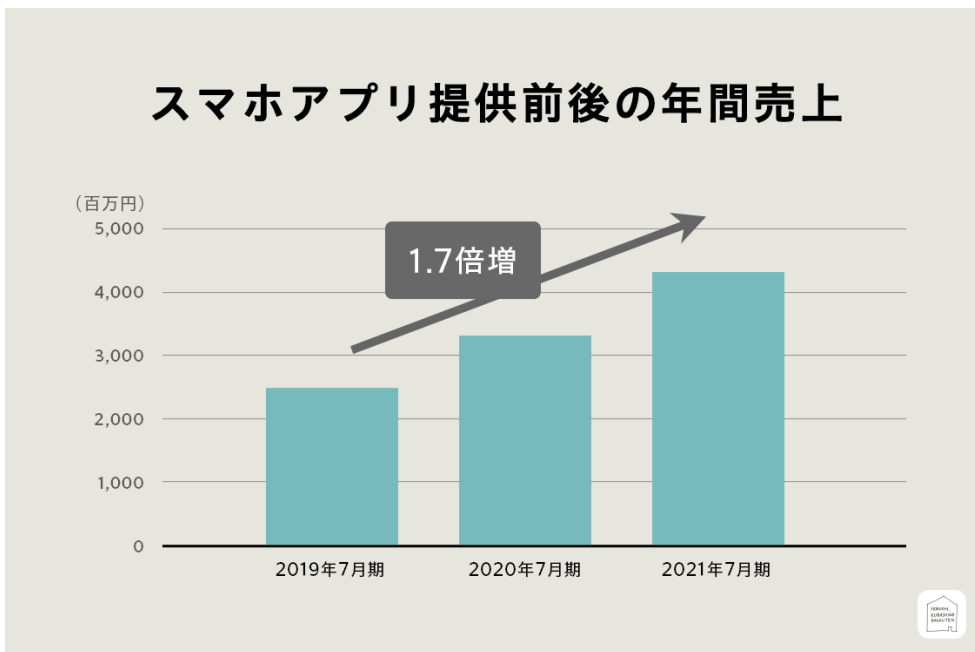
株式会社クラシコム(本社:東京都国立市、代表取締役:青木耕平)が提供するライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」のスマホアプリ(iOS・Android)が、2020年4月のAndroid版提供開始から、約2年で200万ダウンロードを突破したことをお知らせします。これを記念して、クラシコム初の開発担当者によるトークイベント「Kurashicom Tech Talk」を、2022年6月28日(火)に開催いたします。当日は、アプリ開発を担当したクラシコム社員2名が登壇し、開発者による現場課題やその解決のプロセスについてお話しします。

■アプリ提供の経緯

「北欧、暮らしの道具店」では、SNSからの誘導だけに依存しないリピーターユーザーの獲得と、当社が提供する商品ページ・コラム・動画・ポッドキャストなど多様なコンテンツをシームレスに移動が可能な独自プラットフォームを構築するため、2019年11月にiOSアプリを提供開始。そして2020年4月にAndroidアプリを提供開始してから1年で100万DLを突破し、約2年となる2022年5月に200万DLダウンロードを突破しました。

■アプリによる売上への影響

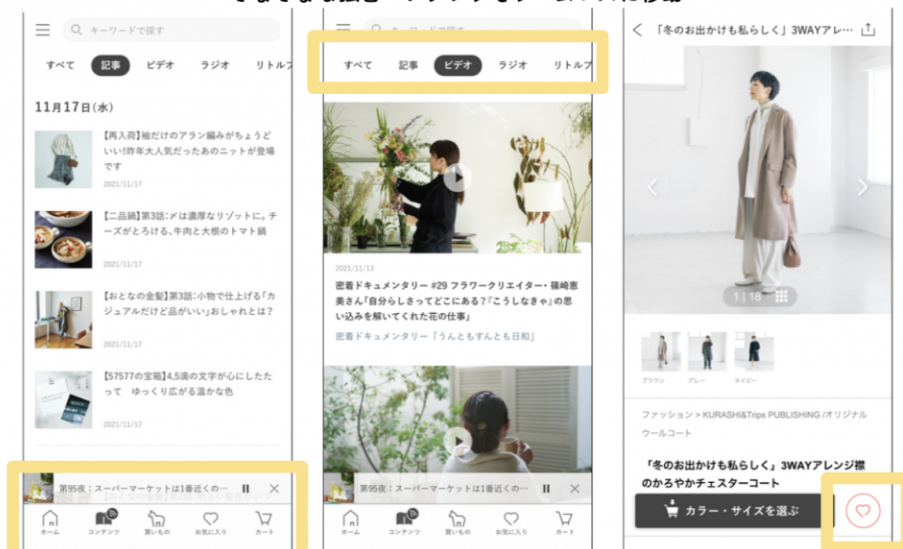
スマホアプリは売上向上にもつながっており、アプリ提供前の2019年7月期の売上27.4億円に対し、アプリ提供後の2021年7月期には年間売上が約1.7倍増の45.3億円となっています。



スマホアプリ 200万ダウンロードとなった現在のEC購入比率は約6割がスマホアプリ経由となり、ウェブサイト経由よりも高い割合となりました。アプリのダウンロード数は提供開始から右肩上がりが増加しており、さらなる利用者の拡大が見込めます。

アプリの成功要因は、導線のシームレス設計、YouTube動画活用、ウィジェット活用の3点だと捉え、これらが新規会員の獲得や継続利用につながっていると分析しています(※)。

さまざまな独自コンテンツをシームレスに移動



ラジオ (ポッドキャスト) を聴きながらのお買い物も可能

お気に入り機能

■ イベント詳細

2年間で200万DL突破!

北欧、暮らしの道具店の アプリ開発裏話

2年経った今だからこそわかる、
開発課題の答え合わせ

エンジニア
対象

2022年 **6月28日(火)**

19:00-20:30 **オンライン開催**



スタートから2年を迎えた「北欧、暮らしの道具店」のスマホアプリ、その200万DLを記念して、初のエンジニアによるトークイベント「Kurashicom Tech Talk」を2022年6月28日(火)に開催します。テーマは「2年経った今だからこそわかる、開発課題の答え合わせ」。アプリ開発を担当したシニアエンジニアの廣瀬と、UI/UXデザイナー兼開発チームマネージャー村田の2名が登壇いたします。

Webサイトの成長を維持しつつ、いかにして顧客に利用されるアプリを作り上げたか。開発当初抱えていた課題や、開発を進める中で特にこだわった部分、2年経った今だから語れる失敗体験など、開発エンジニア、デザイナー目線でアプリ開発の裏側をお話します。企業やECのアプリ開発に興味のあるエンジニアのみみなさまのご参加をお待ちしています。

「Kurashicom Tech Talk」

テーマ:「北欧、暮らしの道具店」アプリ 200万DL突破! 2年経った今だからこそわかる、開発課題の答え合わせ」

開催日時:2022年6月28日(火)19:00-20:30

会場:ZOOMによるオンライン配信

参加料:無料

登壇者:

株式会社クラシコム システムプラットフォーム部 廣瀬 健

1985年生まれ。学生時代に所属していた劇団のHP制作をきっかけに、制作会社へ入社。その後友人と起業した受託開発の会社を経て、株式会社クラウドワークスでエンジニアとして開発を行いながらデザイン組織立ち上げにも参画。2017年にクラシコムに入社後は、「北欧、暮らしの道具店」のスマホアプリ新規開発プロジェクト、カートアプリケーションのリプレイス、アーキテクチャの方針策定等に從事している。

好きなこと:レゴブロックと車の運転。

株式会社クラシコム 執行役員 システムプラットフォーム部部長 村田 省吾

1985年生まれ。大学在学中にフリーランスを経てWeb制作会社を立ち上げ後、リクルート・SaaSスタートアップにてグロースやプロダクトマネジメントを担当。2019年、クラシコムに入社。現在は、システムプラットフォーム部部長として、クラシコムを支えるシステム全体を管轄する。

好きなこと:チームの共通言語を作ること。キャンプとビールと自転車。

イベント詳細・申し込み

URL: https://note.com/kurashicom_tech/n/ncb5a054da1d6

※アプリ好調要因の詳細については、以下のプレスリリースをご参照ください。

【プレスリリース】「北欧、暮らしの道具店」スマホアプリが1年半で150万DL突破。アプリ提供で年間売上1.7倍増の45.3億円、EC売上の6割がアプリ経由（2021年12月2日発表）

<https://kurashi.com/news/10901>

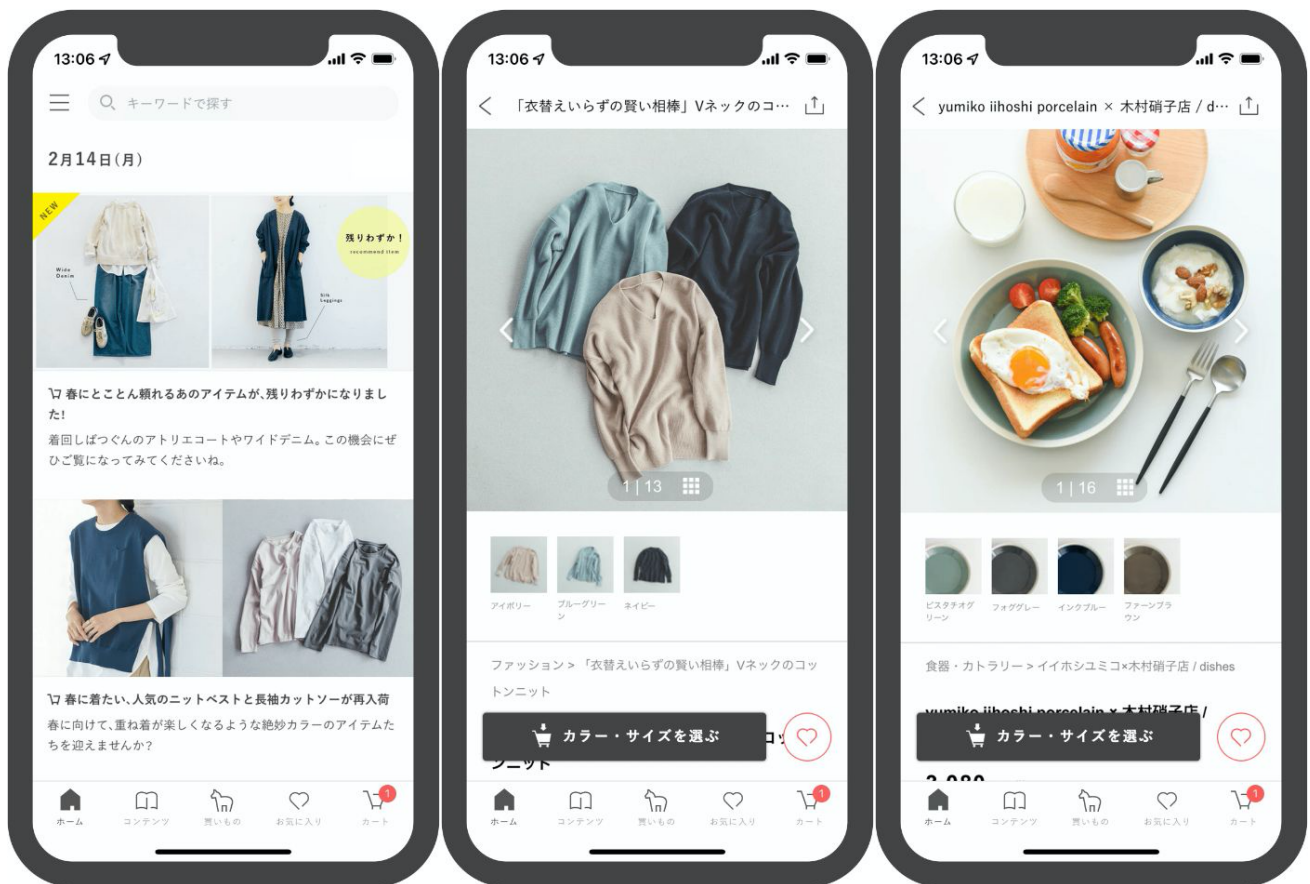
【「北欧、暮らしの道具店」iOS/Android アプリ概要】

価格:無料

提供開始:iOS 2019年11月 Android 2020年4月

ダウンロード URL:<https://app.adjust.com/qdp470w>

特徴: アプリ上で商品の購入から、ウェブ記事や動画・音声コンテンツの視聴などをシームレスに利用することができます。スマホアプリでは、全コンテンツを一覧化してブックマークできる「お気に入り機能」を搭載しています。気になる商品を登録して後からじっくり検討したり、動画コンテンツで作ってみたいレシピを保存したりすることで、“暮らし”に関連する様々なコンテンツを楽しむことができます。



■ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」とは

[HP]<https://hokuohkurashi.com/>

[事業紹介動画]https://youtu.be/BFle3c_KFPg

「フィットする暮らし、つくろう。」をテーマに、北欧を中心とした様々な国の雑貨を販売しながら、Web記事、音声メディア、ドキュメンタリーやドラマなどを独自の世界観（ライフカルチャー）で発信するライフカルチャープラットフォームです。

2021 年は、オリジナルドラマ『青葉家のテーブル』の映画版を 6 月に劇場公開し大きな反響をうけると共に、様々なエンゲージメントチャネルを持つプラットフォームとしての広いリーチ力と、世界観でつながるビジネスの独自性が評価され、2021 年度「ポーター賞」を受賞しました。



▲ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」イメージ図
独自の世界観（ライフ・カルチャー）があふれるサービスを体験できる リゾートパークのようなプラットフォーム

■会社概要

社名：株式会社クラシコム
 英文表記：Kurashicom Inc.
 代表者：代表取締役 青木耕平
 設立：2006 年 9 月
 本社：東京都国立市東一丁目 16 番地 17
 資本金：800 万円
 事業内容：EC、メディア、広告、雑貨企画販売
 URL：<https://kurashi.com/>

代表取締役 青木耕平 プロフィール



1972 年、埼玉県生まれ。2006 年、実妹である佐藤友子と株式会社クラシコム共同創業。2007 年より北欧ヴィンテージ雑貨の EC サイト「北欧、暮らしの道具店」を開業。現在ではライフカルチャープラットフォームとして、「フィットする暮らし、つくろう。」をコンセプトに、国内外の商品のセレクト商品を扱いながらオリジナル商品を開発・販売するとともに、コラム・ポッドキャスト・動画などのコンテンツ制作・配信や、劇場映像製作、100 社を超える企業のマーケティング支援を行うなど、ライフカルチャーにまつわる事業を展開中。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社クラシコム広報担当：馬居（うまい）

Email：press@kurashicom.jp /TEL：050-1749-6113